地球環境を大切にするエアコン丸洗いのリーダー
エアコン丸洗いニュース
第13回定期総会開催
発行：エアコン丸洗い協会
TEL.047-489-0214 FAX.047-489-0215
通巻：第14号
発行日：2007年4月1日発行
発行所：四村商人
編集：ワイディーオー

～環境意識の高まりを追い風に～

IT技術で省エネを推進する企業とのコラボレーションが鍵に

平成19年2月14日、エアコン丸洗い協会総会が、今年も船橋クロス・ウェーブにおいて開催された。参加は23社、同席者を含め40名。

開催の中心は、地球温暖化問題。となれば、今やまったなしとなったこの問題に早くから取り組んできた協会ならではの活動とその成果報告が相次ぎ、“今年こそ”と意気込む会長以下、支部会員たちの熱い思いあふれる総会となった。

新しいビジネスモデルへの展開を語る西村会長

まず参加者紹介が行なわれた後、挨拶に立った西村会長より、エアコン丸洗い市場の動向と今後の活動方針が発表された。

いよいよアメリカが乗り出すまでになった環境問題。我々のエアコン丸洗いはそんな時代のニーズに最も適した環境対策商品と位置づけられる。そこで、今後さらに当会の活動を拡大・展開していかなければならないが、そのためには、IT技術を駆使することで環境対策を実現するシステムを開発した「株式会社イープラット」との連携が非常に意味があるものになる、ということで、エアコン丸洗いに満足をおきながら環境対策を統一した事業方針を築く謳った。

会長メッセージ

●高まる環境意識

英ヴァージングループ会長リチャード・ブランソンとゴア前米副大統領が、年間19億トン以上のCO2を回収できるアイデアを募集、採用したアイデアには、30億円を提供するというので話題になっている。このように、京都議定書を認めなかったアメリカにおいてさえも環境意識の高まりをみせるなど、今やCO2削減、省エネルギー対策は地球規模的な課題になっている。

であるからこそ、省エネ対策に直結する、当エアコン丸洗い事業は、ますます時代のニーズにあったものになっているとの感を強めている。

●“洗うだけ”から新しいビジネスモデルの提案へ

そんな中、これまでにはない新しい考え方・手法に立脚して開発された「Bigdips（エコピーノ）」を擁する株式会社イープラットとの出会いはわれわれにとって非常に意味のあるものとなった。

Bigdipsとは、コンピュータと電気を大量に消費する店舗の省エネと省コストをIT・ネットワーク技術で実現するというもので、その普及は期待らしく、われわれのエアコン丸洗い事業とのタイアップで、一層の相乗効果が期待できると考えている。

タイアップ事業としての具体的な施策として、まずは、4月末、5月末頃に、省エネルギーを課題にした技術研修会を、エアコン丸洗い、エコピーノの省エネ効果の拡販会を企画している。

●今こそ求められる技術力の向上

新しいビジネスモデルを構築した我々は、技術講習会を積極的に行ない、支部の技術力の向上につとめたい。そのためには全国どこへでも出張して、工事で具体的な技術指導を実施していく、また同時に、支部の皆様におかれては、これまでに実施した協会の情報をホームページで公開していくもので、それもあわせて有効活用し、御社に発展した技術力を身につけていただきたい。

●「10台100ヶ所運動」の推進

エアコン丸洗い協会を立ち上げて以来、毎年のようにエアコンの丸洗いをさせていただくお客様を、1ヶ所10台、それが100ヶ所とれるようにと行ない、支部の技術力の向上につとめたい。そのためには全国どこへでも出張して、工事で具体的な技術指導を実施していく、また同時に、支部の皆様におかれては、これまでに実施した協会の情報をホームページで公開していくもので、それもあわせて有効活用し、御社に発展した技術力を身につけていただきたい。

第13回 エアコン丸洗い協会総会

23社40名が参加

2007年2月14日・15日

会場：クロスウェーブ（船橋市）

（株）ベストデンキ　東松山店　埼玉
（有）共和電気　埼玉
（株）ツノイ電気　埼玉
（株）おさなわ光通技建　沖縄
関東機械企業組合　栃木
（有）百記電設工業　群馬
イイノクリーン協業　茨城
スマイリー　千葉
ヒダカデンキ　千葉
（株）富士冷機　千葉
（株）中岸商店　埼玉
（有）米倉電機　静岡
（株）カンサイ　静岡
（株）機械テック　栃木
坂口ボイラーサービス（有）　栃木
エアコン丸洗い（株）東日本支社　福島
伊藤田エネクスホームライフ東北（株）　宮城
東北美装（株）　福島
（株）トウエキ　福島
（有）高田商店　福島
（株）菅井　福島
エアコン丸洗い（株）　千葉
（株）イープラット　東京
（株）クオリティマネージメント　東京
電波新聞社　栃木
空調タイムス社　東京
石油化学新聞社　東京
産業新聞出版（株）　東京
プロパン新聞社　東京
いんぷっと　東京
（有）ヨシオカデザイン　千葉

支部活動報告

支部活動報告は、東日本支部のエアコン丸洗い（株）東日本支社の佐藤靖司氏が行ない、地球温暖化で異常気象が続き、売上が芳しくない中、さらに他社との価格競争に入らざるを得ない状況で大変苦しかった。それでもなんとか実績を残せたのは、定期メンテナンス契約があったからではあるが、それもこなすだけで新しい契約が取れなかったのは大きな反省が残る、と語った。

西日本支部からは、（株）徳栄テクの宮崎氏が挨拶に立ち、昨年は公共工事の削減などで本業環境が縮小せざるを得なくなるなど厳しい現状が続いているが、今後は従来の方針を大きく転換し、新たな視点でエアコン丸洗い事業に積極的に取り組んでいきたいと語った。

続いて、優秀加盟企業の表彰が行なわれ、エアコン丸洗い（株）東日本支社の佐藤靖司氏が優秀企業として壇上に立ち、続いて「努力賞」が、それぞれの企業に贈られた。

努力賞を受賞した㈱東京総合工業組合の古屋氏は、最高用1000台を受注できたのが大きかった。しかし、このように現場の大きい受注の場合は、自社だけでの対応が難しく、西村会長にサポートしていただくことで乗り越えるなど、積極的な活動などを含めてまだ多くの課題がある。が、今年も引き続き、特にノウハウを積極しつつあるレストラン関係など、大きいところを手がけていきたい。㈱エネオは自己本店でもあるが、時代のニーズに合わせて頑張っていきたいと力強く意気込みを語った。

もう一人の努力賞を受賞した㈲米倉鉄鋼の米倉節夫氏は、「いかに努力しないで売物を上げるか」がわが社のモットーと、会社の説明。静岡市内での電気工事が本業だが、本業以外の開拓は、たまたま中小企業同友会で知り合った方やご近所からエアコン丸洗いを薦められたことがきっかけだった。以来、地元で顔の広い不動産会社とタイアップすることでお客様の効率的な獲得に努めたが、それが功奏と言えるとユーモアをまじえながら語った。

最後に、今回は「増額賞」を創設し、エアコン丸洗い協会総会に設立当初から参加し、毎年会に参加することで会を盛り上げてくれている会員に対して感謝することでその労を労った。「功労賞」は（株）徳栄テック宮崎氏に。

▲左から表彰、佐藤、古屋の各氏

表彰会場から挨拶、古屋、日高氏に記念品が贈られて

最優秀賞　エアコン丸洗い協会東日本支社（佐藤靖司氏）
努力賞　㈲東京総合工業組合（古屋孝明氏）
努力賞　有限会社米倉鉄鋼（米倉節夫氏）
優秀賞　ベストデンキ　（石井敦章氏）
　　イイノクリーン静業　（原生政雄氏）
　　ヒダカデンキ　（日高勝則氏）
功労賞　株式会社徳栄テック（宮崎栄二氏）

▲宮崎 栄二 氏

活発なグループ討議に 成果あり

2/15 2日目

2日目は、3グループ（6人ノグループ）にて、現状報告及び将来目標、当期の参入目的等について討議、グループ代表に発表していただいた。

（株）おきなわ計画技建、原岡味噌㈱社長から、EA21（エコアクション21）の認定取得された報告があり、これからの企業経営には、売上に加えて、環境への負荷（光熱費、ゴミ処理費等）の報告義務が課せられる時代が到来している。EA21はこれを実行するために中小企業向けの環境報告ツールである。ISO14001は大企業向けの環境負荷の報告ツールである。

また、（株）共和電業・小島博社長からは次の報告があった。10年前にエアコン丸洗い事業の創出で設立、顧客ゼロの業種からスタートした。2～3年間は市場の認知、当社の認知度不足で赤字が続いたが、その後市場が拡大して、客層を絞れる環境になった、という力強い報告。市場はある。皆がこの市場をとるかである。お客を持っている協会方は、顧客に電話すれば受注できる環境にあると思う。家庭用で年間1000台位受注できる環境ができていると考えている。これらを受けて、各氏から次々と意見が出された。

▲古澤 勝利 氏

▲渡辺 学 氏

▲原岡味 地原 氏

《エコビーノの素》

株式会社イープラット 取締役　吉田 雅三 氏

Ecobinoは、電気機器メーカーの営々の開発の歴史化ではなく、店舗をひとつの場・エネルギー社会と考え、店舗全体の最適化を未来することで省エネと省コストを同時に実現するというもの。それも、店外の環境（環境や気候など）の変化に連動させることができ、営業時間帯によっても設定値を自由に変えられるというところが特徴。これにより、店舗全体で15%～25%の電力削減を実現する。これは、電力料金に換算すると、月間3台、000円～63、000円、CO2の排出量に換算すると、年間10トン～16トンの削減となる。

◆具体的なメリットとしては、次のようなものにある。

1 管理データの収集・蓄積機能分析で、店舗の運営状態を可視、分析することで、最適な運用改善やシステム機器の改良が可能になり、その結果、エネルギー効率をさらに高めることができる。

・空調や電気機器の性能評価が定量的に行なえるもので、新旧仕様の改良や新規の導入機器の提案判断を定量的に行なえる。

2 管理データの有効活用で、健康的な環境資料を創造。

・CO2排出量の削減効果を数値化、公表することで、顧客・社会、投資家等利害者の共感・評判を高められる。

・管理データを長期保存、業種横断、環境コミュニケーションに積極的に活用することで、環境意識の向上が図れる。

・店舗は投資負担ゼロ。Ecobinoの導入に助成金交付制度を活用することにより、費用の一部が助成される。

以上は概略だが、エアコン丸洗い協会のような社会貢献意識の高い業種とコラボすることで、より効率的な事業展開が図れるようにしたい。

業績が生まれれば、人間関係は急速に深まる。

株式会社クオリティマネジメント 代表取締役　矢部 晴重 氏

変れないものも変れるようにするには、相手を一生懸命応援し、相手が絶対するまで褒めさせる。何かが出来ること。例えば、相手の作品や絵などを積極に探した手作りの時や絵などを、そのような、常に相手の事を考えていなければできないものを作られて褒めない人間はいない。褒められれば、人間関係は急速に深まり、そこから先で褒められる対価は計り知れないものがある。

また、前述的な効果として、最初は仕方が無いために行なっていても、そのうちにそれが目的ではなくなり、その行為自体に喜びを見出せる自分になってくる。相手の幸せを見届けるまで心から喜べる自分になってくる。また、相手も変化せようと、相手を評価する。常にその発見を見届けることに注力するというその行為が自分の能力を伸ばすことになる。つまり、本当の意味で自分の「非」がなくなってくる。それが感動を絶対的とした王者の経営である。

感動工事の様子について熱く語る矢部晴重 ▶